

第17回 新潟技調 講演会

開催日：平成28年9月29日(木)

会場／新潟市民プラザ (NEXT21 6階)
新潟市中央区西堀通六番町866
主催／国土交通省 北陸地方整備局
新潟港湾空港技術調査事務所

基調講演 I

「海の上を歩いて楽しむ不思議なインフラ-棧橋- 新潟西海岸への一つの提案」

海岸の棧橋については、海岸の魅力の向上、防災の進展、地方創生に役立つと考えられ、日本型の棧橋の位置づけや可能性を明らかにするため、調査研究が行われているところ。今回は、新潟西海岸を対象として、棧橋を活かした海岸作りの一提案について講演する。

講師プロフィール

講師： かやはら ひてお
栢原 英郎 氏



略歴： 昭和39（1964）年運輸省入省。港湾局長、技術総括審議官を務め平成10年退官。その後、日本港湾協会理事長、会長となり、平成23年にすべての役職を離れた。新潟には第一港湾建設局長として平成2年から3年間弱勤務した。平成20年「我が国の国土計画における地域開発モデルに関する研究」で北海道大学から「博士（工学）」の学位授与。

基調講演 II

「港湾施設の点検作業のための新技術の研究開発について」

供用開始後50年を迎える公共岸壁数は2034年には全体の約6割に上ると推計されており、急増する維持管理の対象施設に対応するためには、従来に比して一層効率的な新しい点検技術が求められている。今回は、港湾空港技術研究所で実施されている新しい点検技術の試みについて講演する。

講師プロフィール

講師： たなか としなり
田中 敏成 氏 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所
港湾空港技術研究所 新技術研究開発領域 計測・システム研究グループ
主任研究官 LCM支援センター 主任研究官（併任）



略歴： 平成7年（1995）奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科情報処理学専攻博士前期課程修了、運輸省入省。港湾技術研究所機械技術部に配属。平成13年（2001）研究所の独法化を経て、施工・制御技術部（現新技術研究開発領域）に勤務。平成18年（2006）同所LCM研究センター（現LCM支援センター）に併任。平成28年（2016）3研究所統合により現職。博士（工学）大阪大学（2010）

プログラム

13:00 開場
13:30 開会
13:35 挨拶 新潟港湾空港技術調査事務所長 笹 昭二
13:40～14:15 基調講演 I
・「海の上を歩いて楽しむ不思議なインフラ-棧橋- 新潟西海岸への一つの提案」
14:15～14:50 基調講演 II
・「港湾施設の点検作業のための新技術の研究開発について」
15:00 閉会

申込方法

定員： 300名（先着順）
申し込み： FAX、はがき、Mail で裏面の内容をお送りください。
× 切： 9月21日(水)必着
●住所： 〒951-8011 新潟市中央区入船町 4 丁目 3778 番地
●FAX： 025-227-1205 ●Mail： gichoinfo@pa.hrr.mlit.go.jp
問い合わせ先： 新潟港湾空港技術調査事務所 調査課 025-222-6115(代)

新潟港湾空港技術調査事務所の役割 未来へ導く確かな技術

〈未来に向かう技術開発〉

- 港や海岸などの環境を守るための技術開発
- コスト縮減につながる新設計手法の確立
- 港などの構造物保全のための技術開発

〈港の安全のために〉

- 航行安全・海洋環境保全のための作業船の整備
- 安全施工のための技術開発

〈人々の暮らしのために〉

- 人々の暮らしを支える物流拠点となる港などの設計
- だれもが使いやすく、安全で親しまれる公共施設の設計

〈海を知るために〉

- 港の整備に必要な不可欠な波などのデータベースの管理・活用
- 波や港の構造物などに関する調査・実験

会場までのアクセス



●バス●

JR新潟駅 万代口（北口）駅前バスターミナルより萬代橋ライン、浜浦町線、信濃町線、鳥屋野線、有明線、西小針線で「古町」下車 徒歩1分

●車●

新潟バイパス 桜木ICより約15分

〈新潟市民プラザ〉

新潟市中央区西堀通六番町866
NEXT21 6階
TEL：025-226-5500

※無料駐車場はございません。

お車でお越しの際は、周辺の有料駐車場をご利用ください。

第17回 新潟技調 講演会

申込用紙

下記の事項をFAX・はがき・Mailでお送り下さい。

ふりがな 氏 名	住所また所属会社名	電話番号
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	

(個人情報は、本講演会の開催目的以外には使用しません。)

FAX : 025-227-1205

Mail : gichoinfo@pa.hrr.mlit.go.jp